

第7回看護人間工学会学術集会報告

テーマ：

はじめよう！看護でAI・データサイエンス

学術集会長：小野保（岩手医科大学）

日時：2025年9月13日（土）9:15～17:00
（8:40開場）

会場：岩手医科大学附属内丸メディカルセンター
入院棟9階講義室（盛岡市内丸19-1）
+ Zoomのハイブリッド開催



17年ぶりに岩手で開催（前回は人間工学会看護人間工学部会として開催）された学術集会は、AIを中心とした講演と12題の一般演題、看護理工学会との合同セッションと盛りだくさんの内容で、充実したプログラムでした。今回は、非会員の方や看護師の方にも多くご参加いただき、活発に交流も行われました。
（参加者は現地参加55名、ライブ参加23名、計78名）

プログラム

【会長講演】

「看護におけるデータサイエンス教育」に「人間工学的要素」を取り入れてみた

講演者：小野保（岩手医科大学）

座長：菖蒲澤幸子（岩手医科大学）

【特別講演】

病棟の安全管理とAIの活用に向けた取り組み

講演者：佐藤悦子（岩手医科大学附属病院副院長兼看護部長）

竹田大将（Defios株式会社、DefiosLab所長）

座長：小野保（岩手医科大学）

【教育講演】

生成AI・VRを活用した看護教育の人間工学的アプローチ

講演者：箕浦哲嗣（愛知県立大学）

宮坂健太郎（看護師・保健師・上級VR技術者）※リモート講演

【総会】

【一般演題1】6演題 座長：徳重あつ子（武庫川女子大学）

【看護理工学会合同セッション】

看護人間工学と看護理工学におけるAI活用の可能性

講演者：石井豊恵（大阪大学）※リモート講演

水戸優子（神奈川県立保健福祉大学）

座長：樋之津淳子（札幌市立大学）、小野保（岩手医科大学）

【一般演題2】6演題（2演題はリモート発表） 座長：伊丹君和（滋賀県立大学）

企業展示

- ・東洋羽毛北部販売株式会社： 羽毛寝具，ムートンパット
- ・ニプロ株式会社： HN LINE一式（輸液ポンプ・バイタル測定機器等）
- ・パラマウントベッド株式会社： 眠りscan（睡眠センサー）



2025年10月
看護人間工学会
広報渉外委員会

会場の様子(ダイジェスト)



【理事長挨拶】水戸優子先生



【会長講演】小野保先生



【特別講演】佐藤悦子先生、竹田大将先生



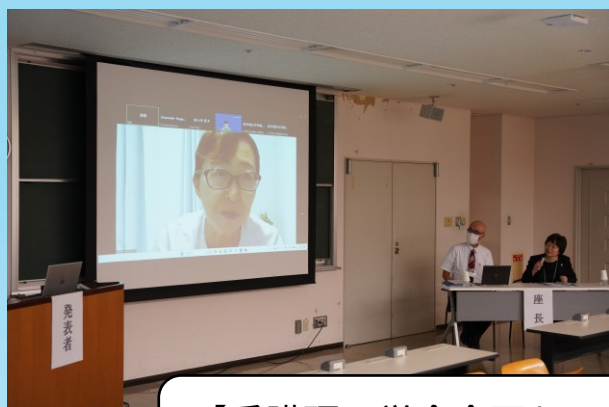
【教育講演】箕浦哲嗣先生
(宮坂健太郎先生はzoomでのリモート講演)



名誉会員の村上生美先生も
ご参加くださいました。



次期学術集会長
能登裕子先生（九州大学）

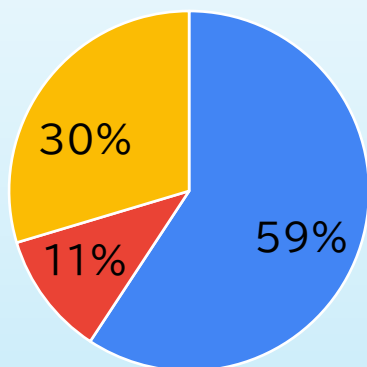


【看護理工学会合同セッション】石井豊恵先生、水戸優子先生
(左は看護理工学会の赤瀬智子先生)

【参加者アンケート】

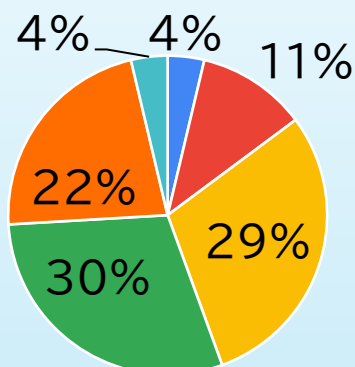
回答者27名(現地参加20名, ライブ参加7名)

会員種別



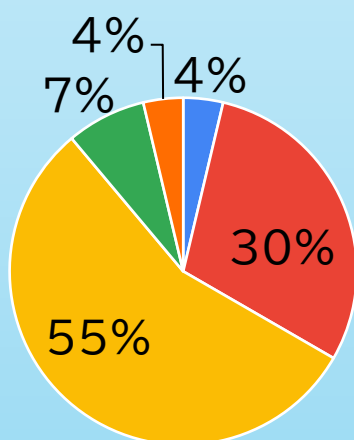
- 会員である
- 非会員だが、入会を検討している
- 非会員であり、入会は考えていない

年齢



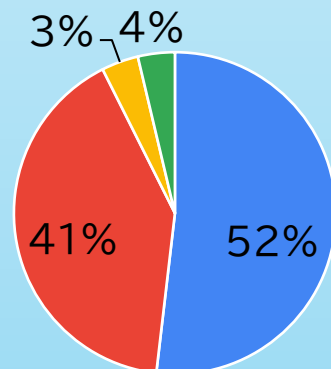
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代以上

職種



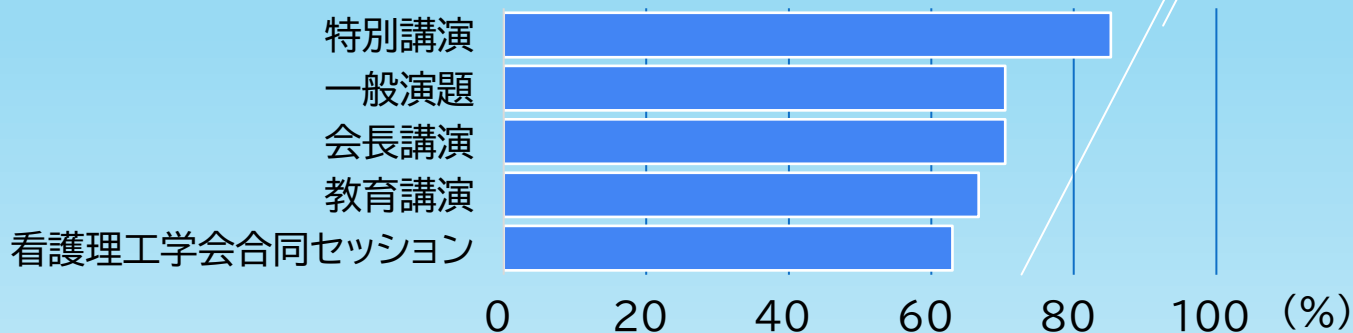
- 医療機器業者
- 看護師
- 教員
- 大学の研究支援員
- 研究職

学術集会の運営は いかがでしたか？



- 大変満足
- 満足
- 不満
- どちらでもない
- どちらでもない

良かったと思う企画は？ (複数回答)



学術集会全般についてのご意見・ご感想など

- 大変気持ちのよい大会でした。ありがとうございます。
- 一般演題の発表時間とディスカッションの時間が短い。それぞれの一般演題の内容に対して、座長の専門性を合わせた方がよい(実践報告・質的研究・量的調査系・実験系などの区分に応じて)。他の部屋も利用して、一般演題を並行して走らせても良いのではないかと。場合によってはコアタイムを設定したポスター発表があっても良いかもしれない。後進を育てる意味でも、若手研究者の企画枠や、それぞれ分野の範囲が広いので専門性が合ってるのであれば若手に座長をスポットで任せてみたりしても良いのではないのでしょうか。
- とても楽しく、そして多くの新しい情報が得られ、企画運営の先生方には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 企画運営お疲れ様でした。とても役立つ内容で有意義な1日でした。ありがとうございました。
- 関心の高いテーマでとても興味深く、面白かったです。ご準備いただいた皆さま、ありがとうございました。
- 学術集会の企画・運営お疲れ様でございました。聞いてみたかった内容ばかりだったので、興味をもって参加できました。ありがとうございました。特に不満な点はありません。
- これまで、色んな研修会などの参加してきましたが、今回の学会が1番ストンと落ちました。理解を少しでも定着させるように復習したいと思います。看護人間工学とAIの親和性の高さを再認識しました。運営の皆様、ありがとうございました。
- 看護教育・研究の場で、AIとどのように向き合うのか、考える必要があっても考えるための最新の情報を得られていない状況であったため、この機会に知り考えることができ、とても貴重なデータおよびプログラムでした。ありがとうございました。
- 看護分野だけではなく、様々な大学の方々のプレゼンを聞き、とても刺激になりました。とくに看護分野以外の工学部や理工学部などの発表は参考になりました。AIを仕事や生活にうまく導入していく方法を知る良い機会になりました。昼食のお弁当がいろどりや見せ方が素敵でおいしかったです。この学会が、もっと看護界に広がっていくことを願います。企画・運営の皆様、おつかれさまでした。

貴重なご意見をありがとうございました。今後の学術集会、学会運営の参考にさせていただきます。

次回、第8回学術集会長は 能登裕子先生(九州大学)です。
来年は九州・福岡でお会いしましょう。